

Se[○]cula Lite

セキュラライト

シリーズ

IP ネットワークカメラ

WEB 設定画面 説明書

製品をご使用の前に必ず本取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。

安全上のご注意

注意

- 内部部品のお客様による修理は行わないでください。障害が発生した場合は、速やかにサポート窓口にお問い合わせください。
- 誤った操作をしたり、衝撃的な振動や強い力を加えたりすると、製品が破損するおそれがあります。
- カメラ本体のお手入れには、洗剤を使用しないでください。必要に応じて、乾いている柔らかい布で汚れを拭いてください。
- カメラを太陽などの極端に明るいものに向けて使用すると、イメージセンサーが破損するおそれがあります。
- 温度、湿度、電源が制限された規定を超えている場合は操作しないでください。
- ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブなどの熱源に近づけないでください。
- エアコンの風が直接当たる場所に置かないでください。
- 本書は、本製品の使用および管理について説明しています。当社は、誤植、最新版との不整合、ソフトウェアのアップグレードや製品の改良、解釈、変更などの修正を行う場合があります。これらの変更是、特に通知することなく最新版に掲載されます。
- 本書に掲載されている写真、図表、画像は、当社製品の説明のためのものです。Microsoft、Apple、Google に関する商標、ロゴ、その他の知的財産権は、上記の会社に帰属します。

免責条項

- インターネットに接続された製品については、お客様の責任においてご利用いただくことになります。当社は、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウィルス検査、その他のインターネットセキュリティ上のリスクに起因する異常動作、プライバシーの漏洩、その他の損害について責任を負いませんが、必要に応じて適時技術サポートを行います。
- 監視に関する法律は、国によって異なります。本製品を監視目的で使用する場合は、事前にお住まいの地域の法律をご確認ください。違法な操作によって生じた結果については、当社は一切の責任を負いません。

日常のメンテナンスについて

弊社製品を長くご使用いただくために、カメラや周辺機器の日常的な定期メンテナンスを推奨しております。

IP カメラや録画機器本体、配線周り、IP カメラのドーム部分の傷や汚れは、映像異常や本体の動作不良にもつながるため、定期的な点検を実施くださいますようお願ひいたします。

■ カメラについて

カメラの設置箇所は定期的に点検することをおすすめします。

配線箇所は定期的に確認・清掃を実施してください。塵や埃が溜まった状態で湿気などが加わると通電しないなどのトラブルが生じる場合があります。経年変化によりコードにひび割れなどを発見した場合は使用を中止してください。また外的要因（風雨の煽られによる屈曲やネズミによる咬害など）により、通電不良となる場合がありますのでご注意ください。

なお高所や危険を有する箇所の点検は、専門業者へ依頼することをおすすめします。

■ ドームカバーおよびフロントガラス（表面）の清掃

塵、埃、くもの巣などがドームカバーやフロントガラス（表面）に付着した状態のまま放置すると、水分の乾燥などで、これらがこびりつくことがあります。汚れが付着した状態のままでは鮮明な映像を得ることができません。また、赤

外線ライト（IR-LED）内蔵カメラについては、汚れの影響で映像が白っぽくなるなどの支障が出ることがあります。その場合、めがねクリーナー等のきめの細かい布で汚れを落としてください。なお、シンナーなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。表面のコーティングが剥離する場合があります。

ガラスやカバーの表面を清掃しても症状が改善されない場合は、ガラスやカバー内部の付着が考えられます。経年使用により塵、埃、虫などが入り、ガラスやカバー内部に堆積して大切な映像を遮る場合があります。特にドーム（半球状）の透明カバーは、定期的に清掃をすることをおすすめします。

■ 録画機器について（NVR や NAS 等）

精密機器であるハードディスクは熱に弱いため、高温にならないようファンが搭載されているものがあります。

ファンに塵や埃が付着すると機器が十分に冷却できず、故障の原因となる場合があります。また、溜まった塵や埃に湿気などが加わると発火の原因となるおそれがありますので、定期的なファンの清掃（埃等の除去）を行ってください。

■ AC アダプターについて

AC アダプターは、しっかりとコンセントに差し込んでください。中途半端に差し込むと、接触不良により発熱し、発火の原因となるおそれがあります。またコンセントの差し込み口は、定期的に確認・清掃を実施してください。塵や埃が溜まり、湿気などが加わると発火する場合があります。狭い箇所で電源タップをご使用になる場合、特にご注意ください。配置によっては無理な屈曲が作用し、被膜内のケーブルが断線する恐れがあります。場合によっては発火に至る可能性もあります。定期的に接続環境を確認し、安全に未永くご使用ください。

また、無理なタコ足配線にすると、定格電力を超過したり、AC アダプターの自重によってタップから外れたりする場合があります。スパーク現象など火花が発生し火災に至る危険があります。延長電源タップを使用する場合、使用器具の取扱説明書をよく読み、安全にご使用ください。

目次

1 IP カメラの WEB 設定を開く	3
1.1 ONVIF Device Manager のインストール	3
1.1.1 IP ツールのインストール	3
1.1.2 IP ツールを経由したアクセス	4
2 デバイス構成	5
2.1 パスワードを変更する	5
3 システム管理	6
3.1 システム設定	6
3.1.1 基本情報	6
3.1.2 時刻設定	7
3.2 メンテナンス	8
3.2.1 ネットワーク経由で更新する	8
3.2.2 FTP アップグレード	8
3.2.3 ファイルで更新する	9
3.3 ユーザー管理	10
3.4 ログ管理	11
4 映像・音声管理	12
4.1 映像設定	12
4.2 音声設定	13
5 画質管理	14
5.1 画質設定	14
5.1.1 画質調整	14
5.1.2 映像補正	15
5.1.3 WDR	15
5.1.4 デイ＆ナイト	16
5.1.5 高度な設定	17
5.2 プライバシーマスク設定	18
6 アラーム管理	19
6.1 動体検知	19
6.1.1 基本設定	19
6.1.2 アラーム連動設定	20
6.2 アラームパラメータ	21
7 ネットワーク管理	22
7.1 ネットワーク設定	22
7.1.1 有線接続設定	22

7.2 高度な設定	23
7.2.1 メール設定.....	23
8 ストレージ管理.....	24
8.1 ストレージ	24
8.2 スケジュール管理.....	25
8.2.1 録画スケジュール管理.....	25
9 PTZ コントロール	26
9.1 PTZ コントロール	26

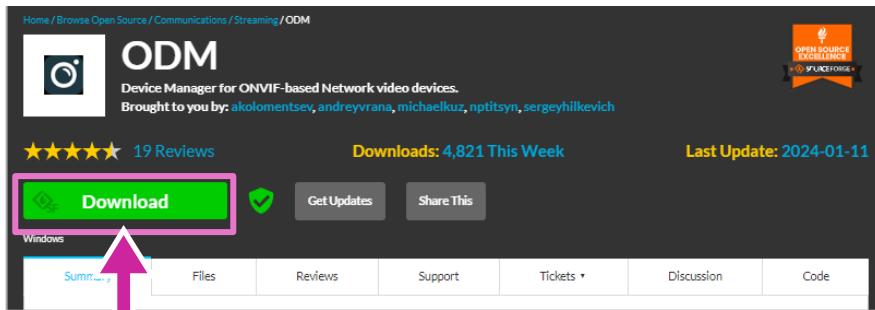
1 IP カメラの WEB 設定を開く

1.1 ONVIF Device Manager のインストール

1.1.1 IP ツールのインストール

① Windows パソコンを開き、以下のウェブサイトから「ONVIF Device Manager」をダウンロードします。

<https://sourceforge.net/projects/onvifdm/>



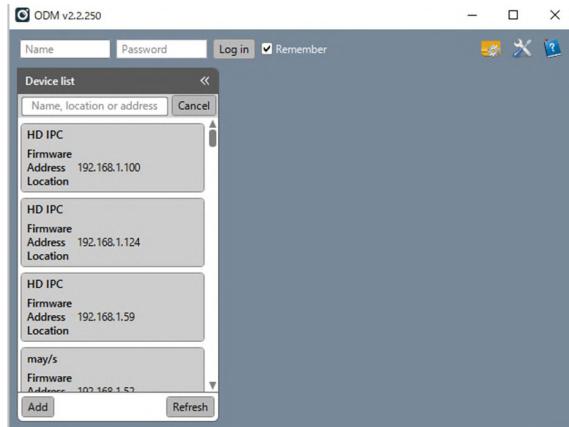
② ダウンロードした [odm-vX.X.XXXr.msi] (X は数字が入ります) をダブルクリックし、インストールします。



※ 以下のメッセージが表示されたら、「はい」を選択します。

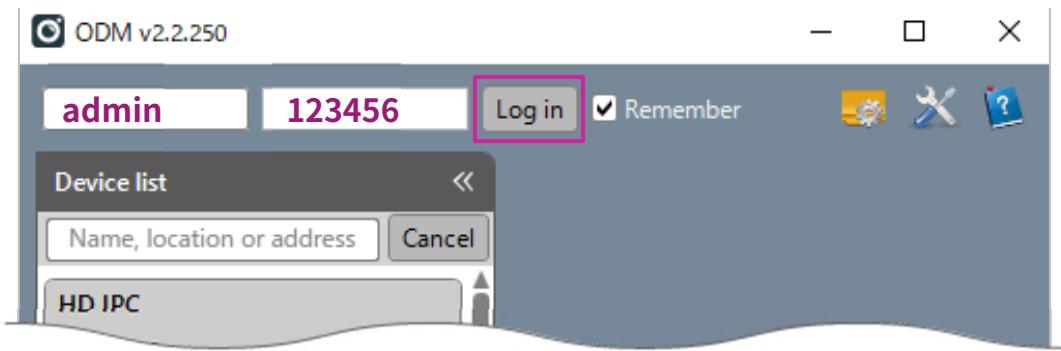


③ アプリが自動で起動します。



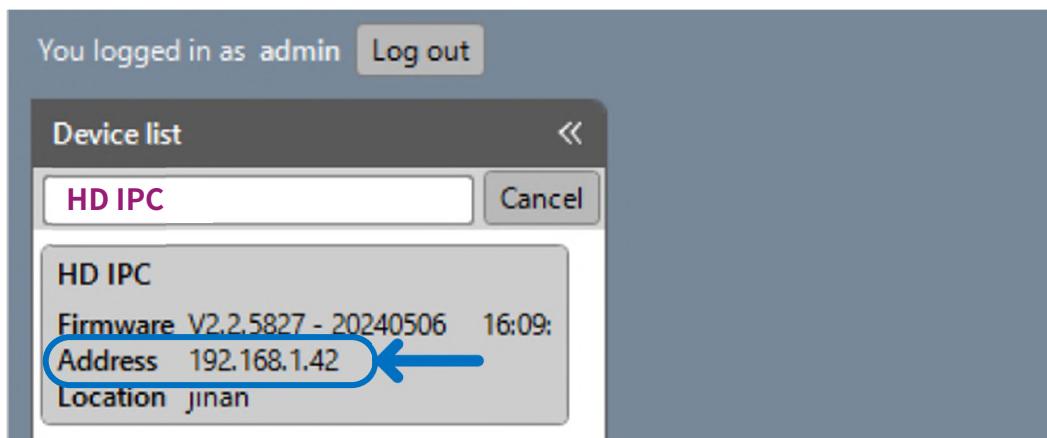
1.1.2 IP ツールを経由したアクセス

- ① 左上の〈Name〉に「admin」、〈Password〉に「123456」を入力し、[Log in] をクリックします。

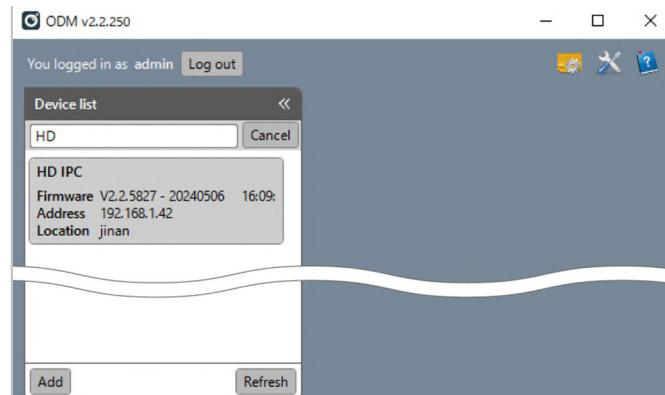


- ② 〈Device list〉の下の入力欄に「HD IPC」と入力すると、[HD IPC] という名前のカメラが表示されます。

- ③ 〈Address〉欄に表示されているアドレスが、カメラの IP アドレスです。



※ 手順②でリストに何も表示されない場合は、右下の[Refresh]をクリックしてください。



※ 手順②でリストにカメラが複数台表示される場合は、リストのカメラをクリックし、右下の映像を確認してください。



2 デバイス構成

2.1 パスワードを変更する

- ① 「システム管理」メニューの「ユーザー管理」をクリックします。

The screenshot shows the Secula Lite software interface. On the left, there is a vertical navigation menu with the following items: システム設定 (System Settings), OSD設定 (OSD Settings), メンテナンス (Maintenance), **ユーザー管理 (User Management)** (highlighted in blue), ログ管理 (Log Management), 映像・音声管理 (Image/Audio Management), 画質管理 (Image Quality Management), アラーム管理 (Alarm Management), ネットワーク管理 (Network Management), ストレージ管理 (Storage Management), and PTZコントロール (PTZ Control). At the top right, there is a "管理" (Management) button. The main content area has two sections: "ユーザーの追加・変更" (Add/Change User) and "ユーザーリスト" (User List). The "ユーザーの追加・変更" section contains fields for Account (アカウント), Group (グループ), Description (説明), Password (パスワード), and Confirmation (パスワード確認). It also includes three buttons: クリア (Clear), 削除 (Delete), and OK (highlighted in blue). The "ユーザーリスト" section displays a table with columns: 選択 (Selection), ユーザー (User), グループ (Group), and 説明 (Description). A single row is shown for the user "admin" with the group "管理者" (Administrator) and the description "Account for Administrator".

- ② 一覧の「admin」ユーザーの「選択」チェックボックスにチェックを入れ、「パスワード」と「パスワード確認」に同じ値を入力し、「OK」ボタンをクリックします。
- ③ 新しいアカウントを作成するには、「アカウント」、「グループ」、「説明」、「パスワード」、「パスワード確認」を入力し、「OK」をクリックします。
- ④ 既存のアカウントを削除するには、削除したいユーザーを選択し、「削除」ボタンをクリックします。

3 システム管理

3.1 システム設定

3.1.1 基本情報

The screenshot shows the Secula Lite IP camera management interface. On the left, there is a sidebar with various management options: System Settings, OSD Settings, Maintenance, User Management (which is currently selected), Log Management, Image/Audio Management, Image Quality Management, Alarm Management, Network Management, Storage Management, and PTZ Control. The main area has two sections: 'User Addition / Modification' (ユーザーの追加・変更) and 'User List' (ユーザーリスト). In the 'User Addition / Modification' section, fields include 'Account' (アカウント), 'Group' (グループ) set to 'General User' (一般ユーザー), 'Description' (説明), 'Password' (パスワード), and 'Password Confirmation' (パスワード確認). Below these are 'Clear' (クリア), 'Delete' (削除), and 'OK' buttons. In the 'User List' section, there is a table with columns: Selection (選択), User (ユーザー), Group (グループ), and Description (説明). One entry is shown: a checkbox next to 'admin', 'admin' in the user column, 'Administrator' in the group column, and 'Account for Administrator' in the description column.

項目	説明
デバイス名	デバイス名はここで変更でき、ライブ映像画面に表示されます。
ファームウェアバージョン	カメラのファームウェアのバージョンが表示されます。
カメラ ID	デバイスがオンラインの場合、遠隔での接続に利用されます。
シリアル No.	製品のシリアル番号が表示されます。

3.1.2 時刻設定

The screenshot shows the Secula Lite software interface. On the left is a vertical navigation menu with the following items: システム管理, 映像・音声管理, 画質管理, アラーム管理, ネットワーク管理, ストレージ管理, and PTZコントロール. The main content area has tabs at the top: 基本情報 (selected) and 時刻設定. Below these tabs is a section titled '日時設定' (Clock Setting). It contains three input fields: 'タイムゾーン:' (Time Zone) set to 'UTC+09:00', 'サーバーの時刻' (Server Time) with 'ntp.nict.jp' in the 'タイムサーバー:' (NTP Server) field and '24' in the '同期間隔 (時間)' (Sync Interval) field, and '手動時刻設定' (Manual Clock Setting) with 'カメラの時刻:' (Camera Time) set to '2024-08-16 11:43:44'. At the bottom are two buttons: '初期値を設定' (Set Initial Value) and '保存' (Save).

項目	説明
タイムゾーン	タイムゾーンを変更します。
サーバーの時刻	カメラの時刻をインターネットから自動的に更新するようにします。
タイムサーバー	NTP サーバー。初期値が推奨されますが、他の NTP サーバーを利用したい場合は入力してください。
同期間隔 (時間)	時刻同期の間隔を時間単位で設定します。
手動時刻設定	手動で時刻設定します。
カメラの時刻	日時を設定します。
初期値を設定	初期値を設定します。
保存	設定を保存します。

3.2 メンテナンス

この画面では、カメラのファームウェアのアップグレード、自動再起動のスケジューリング、初期化を行うことができます。

項目	説明
アップグレード方法	アップグレードの方法を選択します。
ネットワーク経由で更新する	当機能は使用しません。
FTP アップグレード	当機能は使用しません。
ファイルで更新する	同じローカルネットワーク上にあるパソコンの更新ファイルを利用して、アップグレードを行います。
バージョンファイル	「ファイルで更新する」を選択している際に「ファイルの選択」ボタンから、バージョンファイルを指定することができます。
アップグレードファイル	「ファイルで更新する」を選択している際に「ファイルの選択」ボタンから、アップグレードファイルを指定することができます。
アップグレードの進捗	アップグレードの進捗状況を表示します。
アップグレード	アップグレードを開始します。
自動再起動	カメラを再起動する曜日と時間を設定します。
カメラ再起動	カメラを再起動します。
初期化	すべての設定とデータを削除し、カメラを工場出荷時の設定に初期化します。
保存	設定を保存します。

3.2.1 ネットワーク経由で更新する

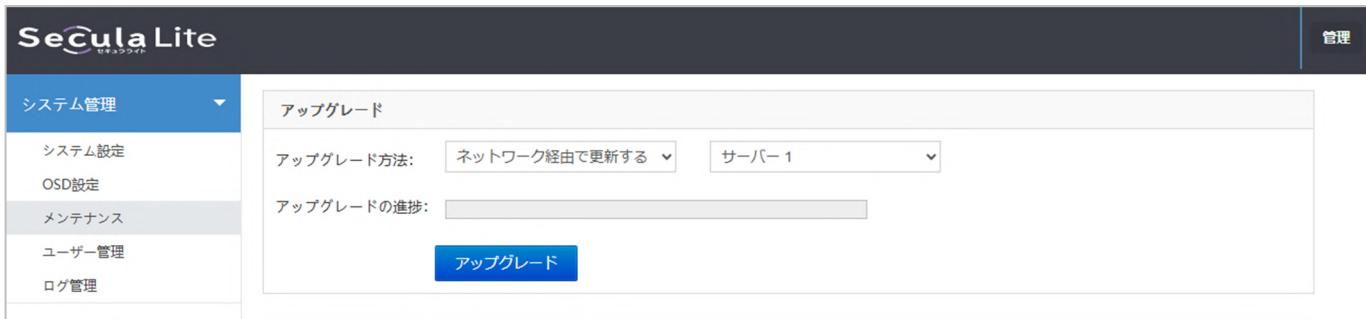
当機能は使用しません。

3.2.2 FTP アップグレード

当機能は使用しません。

3.2.3 ファイルで更新する

- ① 「アップグレード方法」で「ファイルで更新する」を選択します。



- ② 「アップグレード」ボタンをクリックすると、アップグレードが開始されます。

- 「アップグレードファイルのディレクトリが間違っている場合、「The upload file is not corresponding, Please choose again」と表示されます。また、正しいファイルの場合は確認メッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。



- ③ アップデートが始まると、進捗バーが2回表示されます。ダウンロードの進捗とインストールの進捗です。ダウンロードとインストールが完了するとアップグレードは完了し、カメラが再起動して自動的に接続されます。

3.3 ユーザー管理

The screenshot shows the Secula Lite user management interface. On the left is a navigation sidebar with the following items:

- システム管理
 - システム設定
 - OSD設定
 - メンテナンス
 - ユーザー管理**
 - ログ管理
- 映像・音声管理
- 画質管理
- アラーム管理
- ネットワーク管理
- ストレージ管理
- PTZコントロール

The main area has two sections:

- ユーザーの追加・変更** (User Add/Change):

アカウント:	<input type="text"/>
グループ:	一般ユーザー
説明:	<input type="text"/>
パスワード:	<input type="password"/>
パスワード確認:	<input type="password"/>

Buttons: クリア, 削除, OK
- ユーザーリスト** (User List):

選択	ユーザー	グループ	説明
<input type="checkbox"/>	admin	管理者	Account for Administrator

項目	説明
アカウント	アカウント名
グループ	ユーザーグループ
説明	アカウントの説明
パスワード	ユーザーパスワード
パスワード確認	ユーザーパスワード（確認用）
クリア	ユーザーアカウントの情報をクリア
削除	ユーザーアカウントの削除
ユーザーリスト	カメラのユーザーリスト

注意：

- 「admin」アカウントは削除できません。
- 最大ユーザー数は 13 です。
- 変更を行っていない場合、「admin」のパスワードは空です。
- 「グループ」には 3 種類あり、ユーザーを割り当てることができます。
 - 管理者**

管理者はすべての機能と操作に関する権限を持ちます。

・ 一般ユーザー

一般ユーザーは機能の一部の権限を持ちますが、再起動、初期化、ネットワークの設定など、システムレベルの操作は許可されていません。

・ ゲスト

ゲストはライブ映像の視聴のみが可能です。

3.4 ログ管理

イベントログは、システムの問題を診断するために利用できる監査証跡を提供するために、システムの実行で発生したイベントを記録しています。

The screenshot shows the Secula Lite software interface. The top bar has the logo "Secula Lite" and a "管理" (Management) button. On the left, there's a sidebar with a "システム管理" (System Management) dropdown menu containing options like "システム設定", "OSD設定", "メンテナス", "ユーザー管理", "ログ管理" (selected), "映像・音声管理", "画質管理", "アラーム管理", "ネットワーク管理", "ストレージ管理", and "PTZコントロール". The main area is titled "ログの取得" (Log Acquisition). It includes a "表示方法:" (Display Method:) dropdown set to "ページ" (Page) and a "クリア" (Clear) button. Below is a scrollable log list:

```
2024-08-16 11:23:58: Record Stop: Success
2024-08-16 11:23:57: MDetect: Mail Sended
2024-08-16 11:23:57: MDetect: Detected Warning
2024-08-16 11:23:57: Record Start: Success
2024-08-16 10:22:25: Record Stop: Success
2024-08-16 10:22:10: MDetect: Mail Sended
2024-08-16 10:22:10: MDetect: Detected Warning
2024-08-16 10:22:10: Record Start: Success
2024-08-16 09:51:16: Record Stop: Success
2024-08-16 09:50:46: MDetect: Mail Sended
2024-08-16 09:50:45: MDetect: Detected Warning
2024-08-16 09:50:45: Record Start: Success
2024-08-16 09:47:34: Record Stop: Success
2024-08-16 09:47:19: MDetect: Mail Sended
2024-08-16 09:47:19: MDetect: Detected Warning
2024-08-16 09:47:19: Record Start: Success
2024-08-16 09:46:55: Record Stop: Success
2024-08-16 09:46:36: MDetect: Mail Sended
2024-08-16 09:46:36: MDetect: Detected Warning
2024-08-16 09:46:36: Record Start: Success
2024-08-16 09:30:05: Record Stop: Success
2024-08-16 09:29:37: MDetect: Mail Sended
```

項目	説明
表示方法	ログをページか日付単位で表示するかを選択できます。
クリア	ログ情報を再表示します。
Previous	前のページを表示します。
次のページ	次のページを表示します。
ページ数	表示するログのページ数を選択できます。

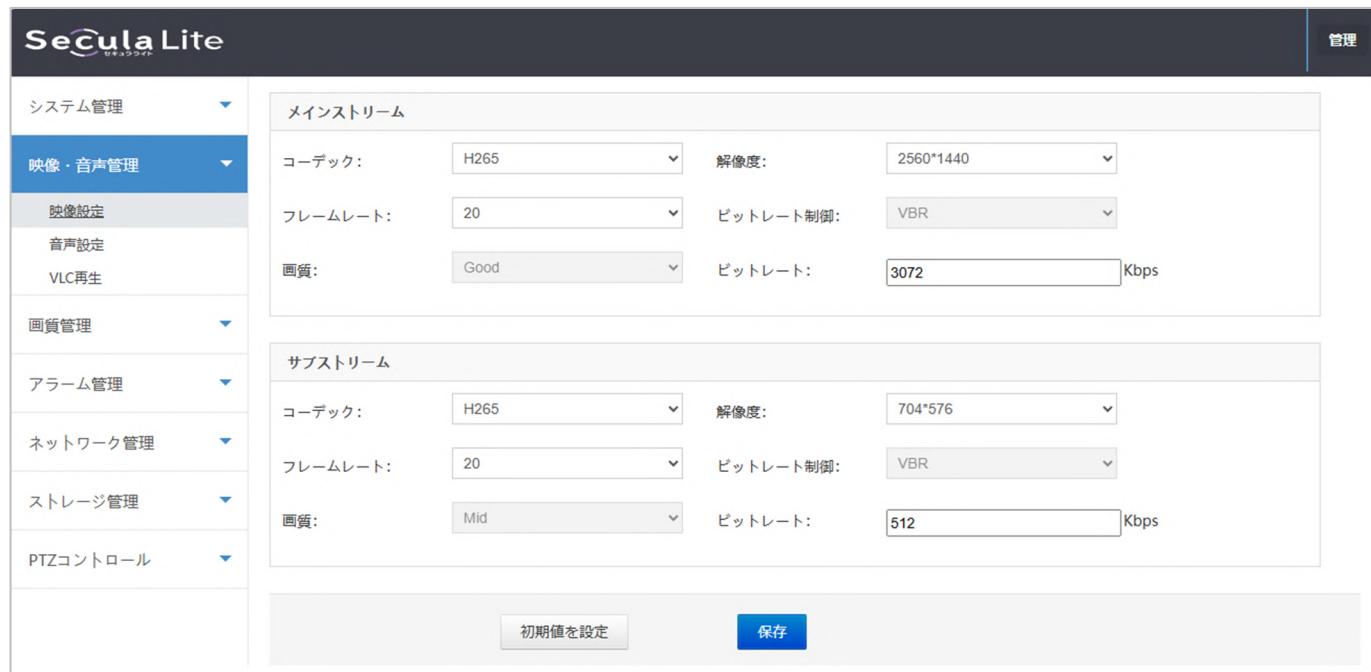
4 映像・音声管理

当カメラはデュアルストリームに対応しています。

メインストリーム：NVR で表示されるチャネル数が 4 つ以下の場合はこのストリームが表示されます。

サブストリーム：NVR で表示されるチャネル数が 5 つ以上の場合はこのストリームが表示されます。

4.1 映像設定



項目	説明	
コーデック	ビデオ圧縮フォーマット	
解像度	映像のきめ細かさをピクセルで表記したものです。高い設定値ほど、映像が綺麗になります。	
フレームレート	映像を生成する秒間の画像数です。高い設定値ほど、映像の動きが滑らかになります。	
ビットレート制御	VBR	可変ビットレート。映像の変化量に合わせてデータ量を変化させるため、データ容量が映像に合わせて最適化されます。
	CBR	固定ビットレート。映像の内容に関係なく一定のデータ量でデータ送信を行うため、データ使用量は設定値通りになります。（設定変更不可）
画質	解像度とフレームレートは共に設定を向上させると、容量も増加するため、解像度をどの程度保つかを設定する（設定変更不可）	
ビットレート	映像のデータ送信において、どの程度のデータ量を送信するかを制御するものです。	
初期値を設定	設定を初期化します。	
保存	設定を保存します。	

4.2 音声設定

音声設定

音声を有効にする

サンプリングレート: 8K

ビット幅: 16bit

コーデック: G711A

初期値を設定 保存

項目	説明
音声を有効にする	音声を有効にするかどうかを選択します。
サンプリングレート	秒間どれだけの音を録音するかというものです。 (設定変更不可)
ビット幅	音声のデータ送信において、どの程度のデータ量を送信するかを制御するものです。 (設定変更不可)
コーデック	音声圧縮コーデック。G711A か G711U があり、視聴アプリが対応しているものを選択できます。
初期値を設定	設定を初期化します。
保存	設定を保存します。

5 画質管理

5.1 画質設定

5.1.1 画質調整

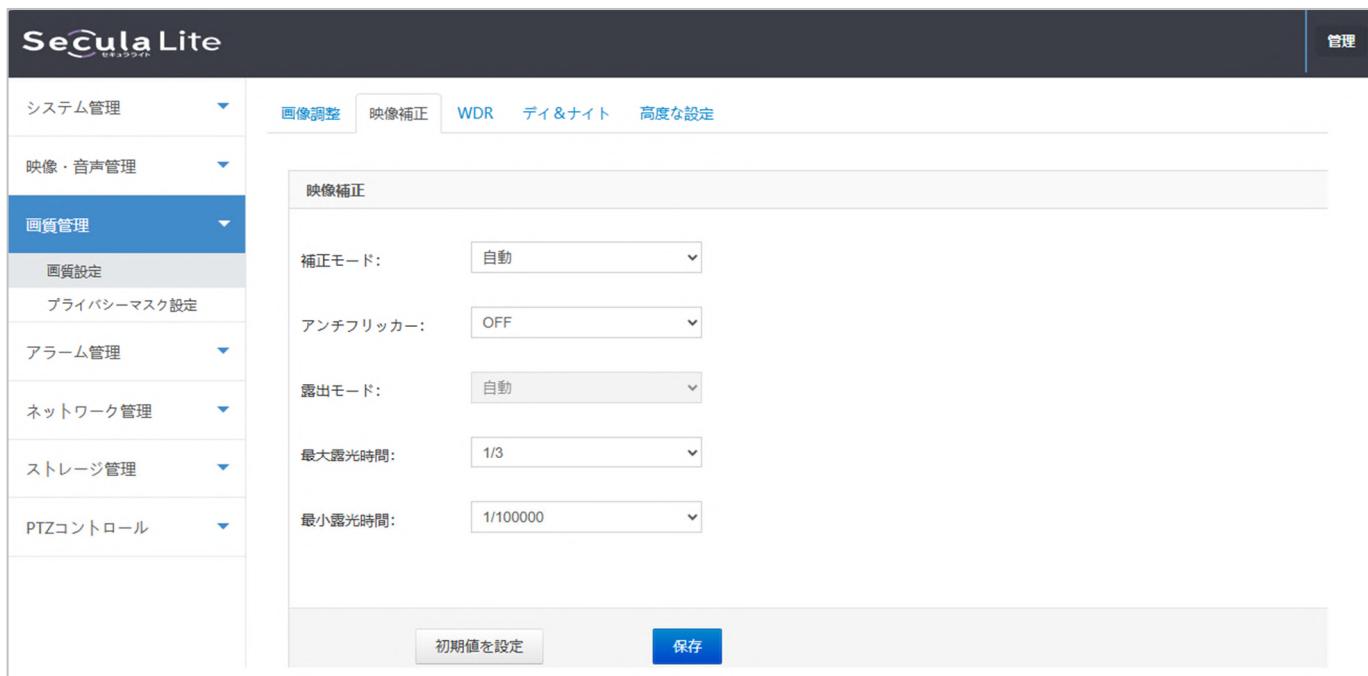
明るさ、コントラスト、彩度、シャープネス、その他の設定をこの画面で調整・設定できる。



項目	説明
明るさ	映像の明るさを設定します。
コントラスト	物体の境界を識別できる輝度や色の差を設定します。
彩度	色に対する明るさの鮮やかさを設定します。
シャープネス	物体の輪郭を強調する加工具合を設定します。
左右反転	映像を左右反転させます。
上下反転	映像を上下反転させます。
イメージスタイル	事前に用意された設定を選択して、映像を調整します。 選択肢には、標準、ビビット、ソフトがあります。
初期値を設定	設定を初期化します。
保存	設定を保存します。

5.1.2 映像補正

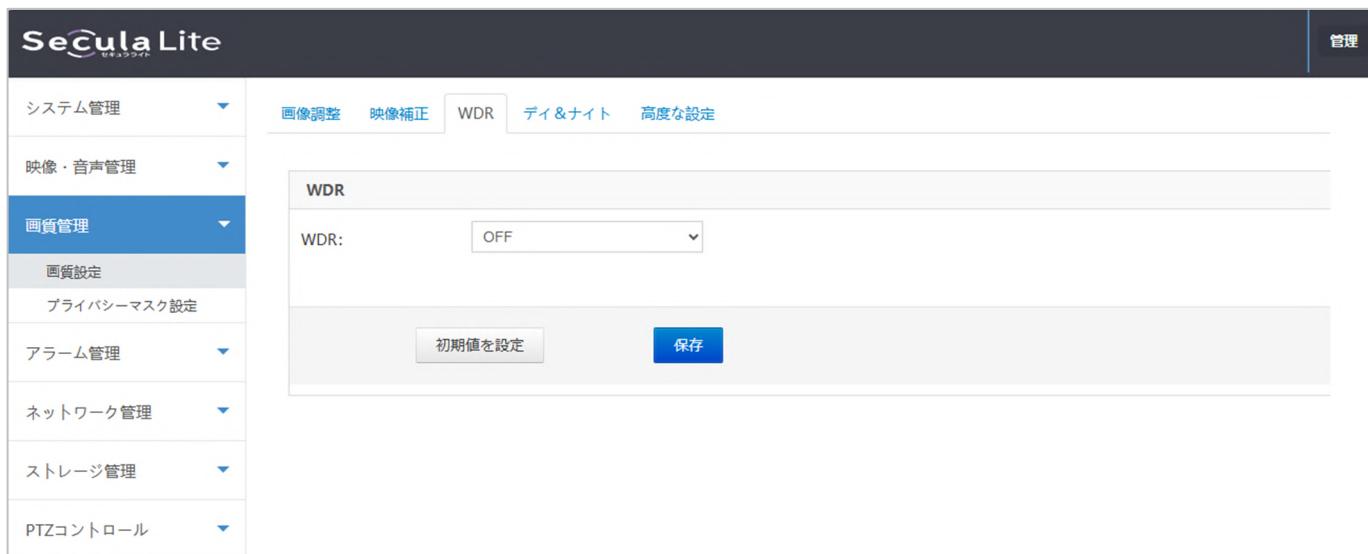
カメラの露出はこの画面で設定できます。



項目	説明
補正モード	自動、ハイライト補正、バックライト補正が選択できます。
アンチフリッカー	部屋の光に合わせてアンチフリッカーを設定します。
露出モード	露出モードの設定
最大露光時間	カメラセンサーの最大露光時間
最小露光時間	カメラセンサーの最小露光時間
初期値を設定	設定を初期化します。
保存	設定を保存します。

5.1.3 WDR

この画面で WDR（ワイドダイナミックレンジ）機能を有効にすることができます。



5.1.4 デイ&ナイト

この画面では映像のカラー、モノクロを切り替えることができます。



項目	説明
自動	自動でカラーとモノクロを切り替えます。周囲の明るさを基準に自動的に切り替えますが、その感度を「感度」のスケールバーで調整できます。
常時カラー	常時カラーになります。
常時モノクロ	常時モノクロになります。
スケジュール	カラーのスケジュールを開始時刻、終了時刻を指定して、設定します。
初期値を設定	設定を初期化します。
保存	設定を保存します。

5.1.5 高度な設定

この画面では夜間低フレーム、3D DNR、デフォグ、歪み補正を設定できます。



項目	説明
夜間低フレーム	この機能を有効化すると、暗視効果が向上します。 (設定変更不可で常時有効になります)
3D DNR	画像のノイズを除去します。 (設定不可)
デフォグ	雨や霧などでも、映像を鮮明にします。
歪み補正	レンズごとに発生する映像の歪みを補正します。 (設定不可)
初期値を設定	設定を初期化します。
保存	設定を保存します。

5.2 プライバシーマスク設定

この画面ではプライバシーマスクを設定できます。

注意：エリアは4つまで設定できます。



項目	説明
プライバシーマスクを有効にする	この機能を有効化すると、設定したエリアが黒塗りとなり、ライブ映像と録画映像の両方がマスクされます。
クリア	設定したエリアを削除します。
初期値を設定	設定を初期化します。
保存	設定を保存します。

6 アラーム管理

6.1 動体検知

6.1.1 基本設定

動体検知は、設定された監視エリア内の動く物体を検知し、設定した内容を実行させることができます。



- ① 「動体検知を有効にする」にチェックを入れ、機能を有効化します。
- ② 設定エリア上でマウスをドラッグアンドドロップ操作し、動体検知エリアを設定します
- ③ 「保存」ボタンをクリックし、設定を保存します。

項目	説明
動体検知を有効にする	動体検知機能を有効にします。
初期値を設定	設定を初期化します。
感度	検出しやすさを調整します。設定値が高い程、検出されにくくなります。
クリア	設定した動体検知エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

6.1.2 アラーム連動設定

動体検知時の動作を設定することができます。



項目	説明
アラームをプッシュ通知で送信する	動体検知時にプッシュ通知を発出させます。（機能が他アプリと非連携のため、使用不可）
アラームをメールで送信する	動体検知すると、設定されたメールアドレスにメール送信します。
録画を開始する	動体検知すると、録画を開始します。
保存	設定を保存します。

6.2 アラームパラメータ

アラーム機能に関する設定を行うことができます。

The screenshot shows the Secula Lite software interface. On the left is a vertical navigation menu with the following items: システム管理, 映像・音声管理, 画質管理, アラーム管理 (which is highlighted in blue), 動体検知, アラームパラメータ (which is underlined), ネットワーク管理, ストレージ管理, and PTZコントロール. The main content area has a header 'アラームパラメータ'. Below it, there are two sections: 'アラーム出力' and '作動スケジュール設定'. In 'アラーム出力', there are two checkboxes: 'アラーム音を有効にする' (unchecked) and 'アラームライトを有効にする' (unchecked). A text input field 'アラーム継続時間(0-100秒):' contains the value '3'. In '作動スケジュール設定', there are two checked checkboxes: 'アラームプッシュ通知を有効にする' and '常時'. Below these are two time selection fields: '開始時刻:' set to '00:00:00' and '終了時刻:' also set to '00:00:00'. At the bottom right of the content area is a blue '保存' (Save) button.

項目	説明
アラーム音を有効にする	動体検知した際にアラーム音を鳴らします。 (スピーカー非搭載の場合は使用不可)
アラームライトを有効にする	動体検知した際にホワイトライトを点灯させます。 (ホワイトライト非搭載場合は使用不可)
アラーム継続時間(0-100 秒)	アラーム音、アラームライトの継続時間を設定できます。
アラームプッシュ通知を有効にする	動体検知時にプッシュ通知を発出させます。 (機能が他アプリと非連携のため、使用不可)
常時	常時、動体検知を有効化します。
開始時刻	「常時」を選択していない時に開始時刻を設定できます。
終了時刻	「常時」を選択していない時に終了時刻を設定できます。
保存	設定を保存します。

7 ネットワーク管理

7.1 ネットワーク設定

7.1.1 有線接続設定

有線接続によるネットワーク設定を行うことができます。

The screenshot shows the Secula Lite web interface with the following details:

- Left Sidebar:** Includes links for System Management, Image/Audio Management, Quality Management, Alarm Management, Network Management (selected), Network Settings (selected), Advanced Settings, Storage Management, and PTZ Control.
- Top Bar:** Shows the Secula Lite logo and a 'Management' link.
- Current Page:** '有線接続設定' (Wireless Connection Settings) under 'Network Settings'.
- Form Fields:**
 - DHCP:** Checked (selected).
 - IP アドレス:** 192.168.1.140
 - サブネットマスク:** 255.255.255.0
 - デフォルトゲートウェイ:** 192.168.1.1
 - DNS:** 192.168.1.1
 - MAC:** e0:62:90:7a:31:51
- Buttons:** '初期値を設定' (Reset to Default) and '保存' (Save).

項目	説明
DHCP	自動的に IP アドレスを取得するようになります。
手動設定	手動で IP アドレスの設定を行い、接続するようになります。
初期値を設定	設定が初期化されます。
保存	設定が保存されます。

7.2 高度な設定

7.2.1 メール設定

この画面では、動体検知時のメール送信を行うための設定ができます。

The screenshot shows the Secula Lite software interface. On the left is a vertical navigation menu with the following items: システム管理, 映像・音声管理, 画質管理, アラーム管理, ネットワーク管理 (selected), ネットワーク設定, 高度な設定 (selected), ストレージ管理, and PTZコントロール. The main content area has a title 'メール設定' (Mail Settings) and contains fields for: 送信者アドレス (pcmail@163.com), SMTP サーバー (smtp.1163.com), ユーザー名 (pcmail), パスワード (hidden), SMTP ポート (25), 暗号化 (None), 受信者アドレス1 (empty), 受信者アドレス2 (empty), 受信者アドレス3 (empty), and 受信者アドレス4 (empty). At the bottom are three buttons: テストメール送信 (Test Mail Send), 初期値を設定 (Set Initial Value), and 保存 (Save).

項目	説明
送信者アドレス	メール送信者として扱われるメールアドレスを指定します。
SMTP サーバー	SMTP サーバーのアドレスを指定します。
ユーザー名	サーバーに接続するためのユーザー名を指定します。
パスワード	サーバーに接続するためのパスワードを指定します。
SMTP ポート	SMTP サーバーと通信する際のポート番号を指定します。
暗号化	SMTP のセキュリティを指定します。
受信者アドレス 1~4	4つまで送信するメールアドレスを設定できます。
テストメール送信	設定された内容でテストメールが送信されます。
初期値を設定	設定が初期化されます。
保存	設定が保存されます。

8 ストレージ管理

8.1 ストレージ

カメラに接続されたストレージの状況を確認できます。

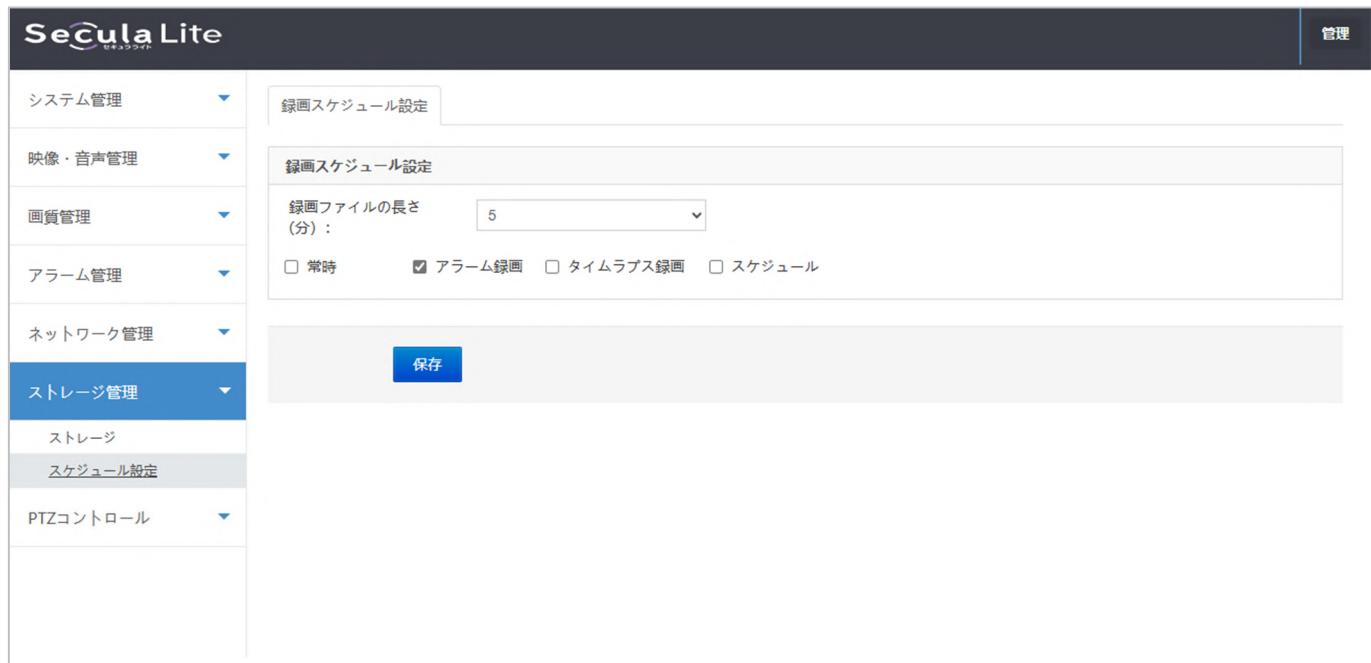
選択	デバイス名	ステータス	使用(MB)
<input type="radio"/>	SDカード	SDカードの準備ができました。	59096/59328

項目	説明
選択	操作するデバイスを選択します。
デバイス名	何のデバイスかを表示します。
ステータス	デバイスごとの状態を表示します。
使用(MB)	デバイスごとの使用容量を表示します。
リストを更新する	リストを再取得し、再表示します。
フォーマット	選択したデバイスをフォーマットします。

8.2 スケジュール管理

8.2.1 録画スケジュール管理

録画スケジュールの設定を行うことができます。



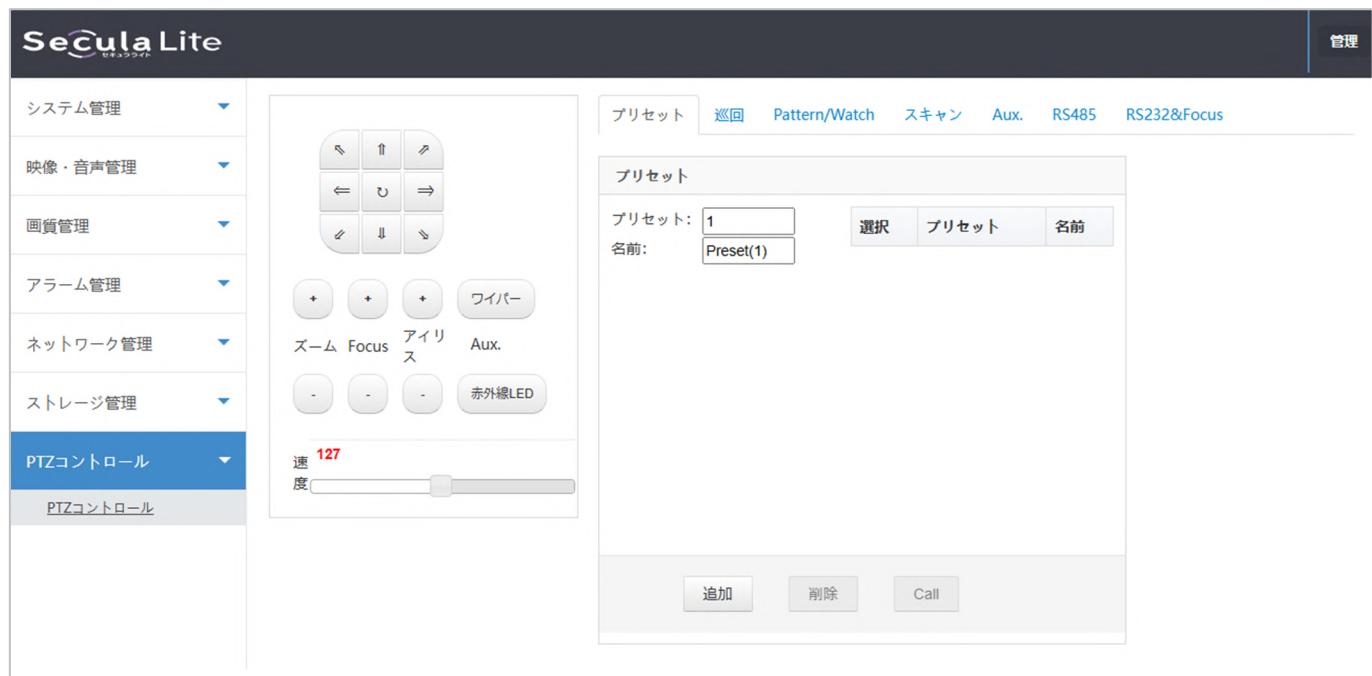
項目	説明
録画ファイルの長さ(分)	録画ファイル1つあたりの録画時間を設定できます。
タイムラプスフレーム間隔(秒)	「タイムラプス録画」を選択した場合のみ表示され、フレーム間隔を設定できます。
常時	常時録画します。
アラーム録画	動体検知した際に録画します。
タイムラプス録画	指定間隔で画像を切り替えるタイムラプス録画で録画します。
開始時刻	「常時」を選択していない時に開始時刻を設定できます。
終了時刻	「常時」を選択していない時に終了時刻を設定できます。
保存	設定を保存します。

9 PTZ コントロール

9.1 PTZ コントロール

PTZ 制御ボタンを使用してカメラのパン、チルト、ズーム制御を操作できます。

ただし、画面右側の機能については、当カメラでは非対応となります。



項目	説明
方向ボタン	4 方向でカメラを動作させることができます。（斜め方向の操作には対応していないモデルもあります）中央のボタンはカメラを水平方向に回転させることができます。
ズーム	ズームインとズームアウトができます。
Focus	ピントを調整することができます。
アイリス	レンズの絞りを調整することができます。
Aux.	「ワイパー」をクリックすると、レンズについた水をワイパーで拭き取ることができます。 「赤外線 LED」をクリックすると、暗いときに赤外線がオンになります。
速度	移動速度を調整することができます。

Secula Lite

セキュラライト

IP ネットワークカメラ 取扱説明書

2024 年 9 月 17 日 第 1 版発行

◆ お問い合わせについて

Secula Lite 製品ご購入後のご質問は下記にて対応しております。

- ※ 非正規出荷品（Secula Lite シリーズ）以外の場合はお答えいたしかねますので、予めご了承ください。
- ※ 故障時の修理につきましては、お買い上げいただいた販売店様にお尋ねください。

▶ お客様サポートページ

<https://www.solidcamera.net/help/>

- ・ ソフトウェアまたは資料等のダウンロード
- ・ よくあるご質問



▶ お問い合わせ窓口

Secula 機器サポート専用ダイヤル

お問い合わせフォーム QR

0120-223-323

音声ガイダンス②を押してください

受付時間：9:00～12:00 / 13:00～18:00
(土日・祝日、夏期休暇・年末年始を除く)

